



こすもスマイル



発行／小林市立病院
地域医療連携室

12号

平成27年2月26日発行

～診療部長 あいさつ～

2015年もよろしくお願ひ申し上げます。
皆様には地域連携にご協力ありがとうございます。



小林市立病院緩和ケアチームの一員として、当院での緩和ケアについて紹介いたします。

病院内での緩和ケアの標準化と質の向上のために、小林市立病院では緩和ケアチームをつくっています。医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、理学療法士、社会福祉士、臨床心理士で構成され、緩和ケアの対象となる患者さんの疼痛緩和や苦痛の緩和に焦点をあてて、毎週一回病棟ラウンド、毎月一回カンファレンスを行っています。

また、他の地域の緩和ケアチームとの交流や、宮崎県医師会主催の緩和ケアチーム研修会、都城緩和ケア研究会にもチームとして参加し、小林市立病院での緩和ケアの質の向上をはかっています。

当院では、患者サロンとして「おじゃったもんせ カフェ」を始めました。毎月一回、院内に場所を確保し、患者さんと家族の療養に関連する、いろいろな悩みについての相談、仕事を離れて病院職員と患者さんや家族とのコミュニケーション、などをおこなう場として利用しています。

国や県の行政の指導のもと、在宅医療、在宅緩和ケアの推進がなされ、入院医療、外来医療で患者さんに切れ目のない診療を提供することが求められています。小林市立病院は、地域医療支援病院として、院内の緩和ケアを含めた医療内容の充実をはかるとともに、地域の先生方と密接に連携していかなければなりません。

これからも、ご協力およびご指導をよろしくお願いいたします。

小林市立病院 診療部長 窪田 悦二

今回のお花

小林市華道連盟より
毎週すばらしいお花を提供していただいております。



診療部紹介

今回は

消化器外科 腫瘍外科

です。

昨年12月をもって福久はるひ先生が退職され、今年1月より鹿児島大学第一外科医局より下之菌将貴先生が赴任され、坪内斉志院長、徳田浩喜副院長、島名昭彦の4人体制で平成27年がスタートしました。昨年6月まで当院で勤務されていた堀英昭先生には毎週水曜日の外来、ヘルニアの手術を手伝って頂いています。また月一回鹿児島厚生連病院の西島浩雄先生に呼吸器外科専門外来をして頂き、肺癌をはじめ、診断治療に苦慮した呼吸器疾患までアドバイスを頂き大変助かっています。月曜日、金曜日が定期の手術日で昨年より外科医師が一人減少したこともあり、金曜日の外来は休診とさせて頂き近隣の先生方にご迷惑をおかけし大変申し訳なく思っております。

昨年は多数の先生方より多くの紹介を頂き、全215例（全身麻酔199例）の手術を施行しました。また上下部内視鏡検査、気管支内視鏡検査、ERCP等の諸検査も年々増加傾向にあり、手術と合わせ日々努力しています。

救急搬送の受け入れ数も増加し、肺炎、心不全といった内科疾患の入院患者も担当することが多くなりました。救急科の川井田望先生にもご協力頂き、可能な限り対応しているつもりですが、マンパワーの不足、ベッド数の不足を理由に紹介をどうしても断らざる得ないこともあります。専門外の疾患の対応に困ることも多く、宮崎大学医学部附属病院、宮崎市郡医師会等の遠方の先生方のお力を借りることも多くなりました。手術、外科的処置が必要な患者さんを優先せざるを得ないことから、比較的落ち着きながらも入院治療の継続が必要な患者さんを近隣の先生方をお願いすることも多くなり、快く対応して頂き助かっています。

坪内院長も日々医師確保に奔走されていますが、なかなか十分な確保ができていないのが現状です。今後も先生方のご協力なしでは診療ができない状況が続くかと思えます。今年もご指導ご鞭撻の程よろしく願いいたします。



消化器外科・腫瘍外科
医長 島名 昭彦

看護部紹介

今回は

手

術

室

です。

今回は手術室・中央材料室を紹介します。看護スタッフは看護師7名、看護助手2名（パート）が勤務しており、時間外手術についてはオンコール体制で対応しています。平成26年の手術件数は568件です。手術診療科は、消化器外科・腫瘍外科、整形外科、泌尿器科、循環器内科です。

消化器外科・腫瘍外科では主に悪性腫瘍及び良性疾患の鏡視下を含めた手術、整形外科では骨折観血的手術や人工関節手術、泌尿器科では、経尿道的手術、前立腺手術、腹腔鏡下の腎尿管膀胱、前立腺に対して鏡視下を含めた手術が行われています。また、循環器内科によるペースメーカー植込術が平成26年1月から再開されました。平成22年4月から麻酔医が常駐となり、平成23年11月からは救急救命士の挿管実習も行われています。

手術室看護師は患者への手術による侵襲を最小限にするために、そして手術がスムーズに進行できるように努める必要があります。そのためには、術式の理解、器機の使用目的・取り扱いの知識・技術、手術の進行状況の把握、その次に起こることの予測ができる知識、判断力が必要とされます。また、個別性をふまえた看護を展開するために、個々の患者に関する情報を収集し、術前訪問を行います。手術室においてはチーム医療が不可欠です。手術が最良の状態ですべて安全・円滑に遂行されるように調整の役割も求められます。また、患者の良き代弁者として心身の両面から安全と安楽を保障し、看護を実践していくことが、手術室看護師の責任と役割と言えます。そのためにも日々の手術の振り返りや手術室での勉強会、院内外の研修に参加し知識・技術の向上に努めています。

中央材料室では主に洗浄・消毒・滅菌を行っています。ウォッシャーディスインフェクター・超音波洗浄器での洗浄、高圧蒸気滅菌器・酸化エチレンガス滅菌器による滅菌を行っています。中央材料室において、鋼製小物等の再使用医療機器が適切に滅菌され、保管されて臨床の現場に供給されることは、医療の安全性と質を維持する上で重要な課題です。第1種滅菌技師、第2種滅菌技士を中心に、洗浄評価や生物学的インジケータを導入し、洗浄・滅菌の質保障に取り組んでいます。また、院外で開催される滅菌に関する研修にも積極的に参加し、自己研鑽に努めています。

手術室・中央材料室は平日であればいつでも見学できます。見学希望される場合は気軽に声をかけてください。

手術室・中央材料室師長 米丸 博子

コメディカル紹介

今回は

地域医療連携室

です。

日頃より、連携先医療機関、福祉施設のスタッフの皆様にご指導、ご協力をいただき感謝申し上げます。
また、昨年の症例検討会では、院外施設から7演題の発表をいただき活発な意見交換の場となりましたことをお礼申し上げます。

今回は、地域医療連携室の活動についてご紹介します。

当院では、西諸医療圏の中核病院として地域に貢献するため、平成20年に地域医療連携室を設置しました。

地域の医療機関の先生方からご紹介いただいた患者さんに安心して受診していただくことや、先生方とのスムーズな連絡・連携の窓口としての役割を果たすことを目的として活動しています。

現在、地域医療連携室長 医師1名、担当看護師長1名、事務1名、医療ソーシャルワーカー1名、退院調整看護師1名、医師事務作業補助者4名（医師事務業務と外来診療科担当）、病棟クラーク5名（病棟業務）の多職種で構成され、総数14名のスタッフで運営しています。

地域医療連携室の主な業務内容は、紹介患者さんの予約受付、CT・MRI検査などの検査予約受付、内視鏡胃瘻造設およびボタン交換予約受付や受診日変更などの問い合わせ対応、事務統計業務等を行っております。

なお、平成26年4月より紹介患者さんは事前予約をいただいております。

患者さんの医療相談には、医療ソーシャルワーカーと退院調整看護師が多職種と連携を取りながら支援を行っております。

今後も、患者さんが安心して治療、療養できるように地域医療支援病院として地域医療機関および福祉施設の皆様および当院スタッフと連携を取りながらよりよいサービスの提供に努めてまいります。

4ヶ月に一回の症例検討会の開催、地域連携だよりの発行も含め、充実していけるように、皆様のご意見、ご指導、ご協力をよろしくお願いいたします。



地域医療連携室看護師長 若松恵子
医療ソーシャルワーカー 時任由紀奈
退院調整看護師 今別府郁子

院内コンサート開催



当院ではクリスマスの時期にコンサート開催しており、4回目のコンサートを平成26年12月13日に1階エントランスホールにて行いました。

毎年、地域医療を考える会の方々をはじめとたくさんの方のご協力で入院患者さんや患者さんのご家族へ楽しいひとときをお過ごしいただいています。

今回のコンサートでは、南保育園の年長組さんによる合奏・うた・ゆうぎや、当院スタッフによるハンドベル演奏、バイオリン・電子ピアノによるアンサンブルなどが行われました。



地域医療連携室よりお知らせ

神経内科専門外来開設

平成27年4月より「神経内科専門外来」を開設する運びとなりました。

診察日：毎週木曜日 午前9時～午後4時（完全予約制）

担当医：鹿児島大学病院 林 大輔 医師

紹介制となりますので、事前にFAXおよびTELにて予約をお願いいたします。

症例検討会 ご案内

第17回症例検討会を下記の日程で開催する運びとなりました。

皆様には、何かとお忙しい時期ではあると思いますが、スケジュール調整のうえ、多数のご参加をお待ちしております。

日 時：平成27年3月9日（月） 午後6時30分から

場 所：小林市立病院 2階大会議室

診察予約について

当診療科での待ち時間短縮を目的として

紹介患者様の事前予約が必要になりました！！

事前にFAXにて地域連携室まで予約をお願いいたします。

受付時間 9時～16時まで

※上記時間以外のFAXは翌朝、休日をはさむ場合は
休日明けの対応となりますのでご了承ください



連絡先 小林市立病院 地域医療連携室

TEL 0984-23-8225（直通）
FAX 0984-23-8226

新規採用医師紹介

シモノソノ マサタカ
下之菌 将貴



プロフィール

○診療科 消化器外科・腫瘍外科
○趣味・特技 バスケットボール・スノーボード

H27年1月、前任の鹿児島大学病院から小林市立病院に赴任してまいりました、下之菌将貴です。

両親の出身は南薩の喜入であり、下之菌の姓も喜入に多くみられます。小林にきて、こちらにもシモノソノ姓がたくさんいらっしゃることに、驚きと親しみを勝手ながら抱いております。

仕事に関しましては、消化器外科・腫瘍外科に所属し、主に検査・病棟業務を担当しております。慣れないことも多く、患者さん、スタッフの皆さんにはご迷惑をおかけする場面もございますが、よりよい医療を提供するため、誠心誠意努力してまいりますので、ご指導ご協力のほどよろしくお願いいたします。

といいましても、私の任期は3か月と短く、慣れたところには当院を離れてしまうことになりそうです。短い間ではありますが、少しでも患者さん、スタッフの皆さんとの交流が持てればと思っております。宜しくお願いいたします。

ムナカタ シュン
宗像 駿



プロフィール

○診療科 救急科
○趣味・特技 ランニング・車

小林市立病院 救急科に赴任しました、宗像駿と申します。長野県出身・宮崎大学卒業です。宮崎大学の救命救急センター所属、卒後4年目です。先日まで近所の都城市郡医師会病院救急科に勤務しておりました。

小林はドクターヘリで何度かお邪魔しましたが、ヘリは日中しか飛ばないため、小林の夜の寒さに驚いております。

勤務してまだ1週間ですが、ナース・コメディカルの皆さんが優しく、非常に働きやすく感じています。小林では手術・内視鏡・麻酔も経験させていただいて、非常に濃い研修をさせていただいています。ほぼ全部署と関わらせていただいています。2ヶ月と短い期間ですが、よろしくお願い致します。若手ですが、救急医ですので、急変時は遠慮なくお呼びください。



編集後記

早いもので、年明けからあっという間に1ヶ月が過ぎました。まだまだ寒い日が続きますが、体調はいかがでしょう？インフルエンザも流行していますので、体調にはお気をつけください。

さて、地域医療連携便り作成の担当になってから2回目の発行になります。毎回悪戦苦闘しながら、作成してます。今回より連携便り名称が変わり、小林市の花「こすもす」と地域の方々の笑顔「スマイル」をあわせて、「こすもスマイル」となりました。

たくさんの方に読んでいただき親しんでもらえるよう頑張っていきたいと思っております。

地域医療連携室 瀧口 麻希